

岩手リアルプラットフォーム連絡会開設記念フォーラム

# 女性たちに必要な情報を 必要なタイミングで繋がる地域を目指す

地域の女性の健康を支える医療職種 (Femship Doctors) が中心となり、地域の女性の健康課題を解決するために多職種間で協力連絡体制を確立するためのリアルプラットフォーム連絡会を開設。

～女性を応援する人たちが  
女の子の未来を後押しする～

2022  
11/22 火  
14時30分～16時30分

生涯学園都市会館 まなび学園  
花巻市花城町1番47号 TEL.0198-23-4234

女性たちに、生き抜く力を。

日本女性財団



## 第1回 岩手

リアルプラットフォーム会

## 報告書

一般財団法人 日本女性財団  
2023.01

2022.

11.22(火) 14:30-16:30

まなび学園(岩手県花巻市)

主催

女性たちに、生き抜く力を。

日本女性財団



令和4年度 独立行政法人福祉医療機構  
社会福祉振興助成事業

# 岩手リアルプラットフォーム連絡会 開設記念フォーラム

## 2022年11月22日（火） 14:30-16:30

### 日本女性財団 プラットフォーム構築の考え

- ・一般の人々に広く認知を広げる。支援者を増やして、支援する女性の数を増やす体制を構築する。
- ・日本女性財団はWAM助成金を最大限活用。Femship Doctors(医療関係者)を3年後に500人、連携団体1,500 を目指す。

### 日本女性財団 リアルプラットフォームのパーパス／存在意義

困難な状況にある女性たちがアクセスするプラットフォームを構築し、Femship Doctor側または 支援団体側を地域で支援する。

### 岩手プラットフォーム会 テーマ

- ・女性を応援する人たちが女の子の未来を後押しする
- ・『支援の船がある iwate』 -誰かに届く声・知る-

### 岩手プラットフォーム会 ゴール

#### 女性たちに必要な情報を必要なタイミングで繋がる地域を目指す

医療関係者、各女性支援団体との連携を図り、女性が健康で生きやすく、活躍できる地域を目指す  
『日本女性財団』のパーパスと岩手リアルプラットフォーム会開設・キックオフ会 -知る-

## 参加対象

- ・行政関係者・医療関係者・各種女性支援団体・若年層性教育に関わる方及び教育に関わる方
- ・女性のWell-beingに関心のある方

## 会場

生涯学園都市会館 まなび学園 〒025-0075 岩手県花巻市花城町1-47

## 講演内容

- ・司会進行／西松園内科医院 副院長 滝川佐波子
- ・**オリエンテーション** いしどりや眼科 院長 玉木光子  
「岩手リアルプラットフォーム連絡会立ち上げに至る想い」
- ・**開会** 一般財団法人 日本女性財団 代表理事 対馬ルリ子  
「日本女性財団、私たちについて」
- ・**女性たちを救済する医師～Femship Doctor～**  
津軽保健生活協同組合 健生病院 副院長 齋藤美貴 「東北のフェムシップドクターとして」
- ・**講演1部** 講師／岩手県立大学 看護学部 学部長 福島裕子氏  
「岩手におけるリプロダクティブ・ヘルス／ライツの支援～“これまで”と“これから”～」
- ・**講演2部** 講師／岩手県警察本部 警務部県民課 被害者支援室 課長補佐 佐藤義一氏  
「警察における被害者支援」
- ・**フロアからの支援者発言**
- ・**閉会**

# 参加者内訳 2022年11月22日（火） 13:50開場 14:30-16:30

参加人数	申込方法内訳	申込数	参加	不参加
49	Peatix	16	12	4
	Fax,電話,メール	43	37	7

医師	団体個人	行政	教育	メディア	ボランティア	財団
2	9	14	2	2	6	9

※来賓3名・登壇2名は含まず

※医師内訳：産婦人科医 2

※行政内訳：県議会議員 1、市議会議員 2、町議会議員 5、県職員 1、市議会事務局 3、市職員 2

来賓	岩手県保健福祉部子ども子育て支援室 特命参事兼次世代育成課長 佐々木 浩一 氏
	花巻市長 上田 東一 氏
	花巻市地域振興部 部長 藤井 保宏 氏
登壇	岩手県立大学 看護学部 学部長 福島 裕子 氏
	岩手県警察本部 警務部県民課 被害者支援室 課長補佐 佐藤 義一 氏

## 予算収支

### WAM助成事業

WAM助成予算			支出
委託費	謝金(登壇者、ボランティア他)、諸費(チラシ、備品他)、旅費(交通費)	300,000	277,143
謝金	準備運営スタッフ謝金	30,000	30,000
旅費	財回スタッフ交通費	70,840	130,450
宿泊費	財回スタッフ宿泊費	24,000	0
	自己資金	12,753	
計		437,593	437,593
		収入	437,593
		支出	437,593
		差し引き収支	0

# 登壇内容

**いしどりや眼科 院長 玉木光子先生**

**（オリエンテーション「岩手リアルプラットフォーム連絡会立ち上げに至る思い」）**

新生児遺棄事件後、岩手には活動している団体はたくさんあることに気付いた時、日本女性財団の目指す「プラットフォーム」という言葉が現実味を帯びてきた。繋がりをもち協力し合えたらと考えている。

**津軽保健生活協同組合 健生病院 副院長 齋藤美貴先生**

**（女性たちを救済する医師～Femship Doctor～ 「東北のフェムシップドクターとして」）**

若年の出産、出産に辿り着いてもその後の生活の現実について、様々な例を講演。

性被害について、相談件数が増加しているが、それはワンストップ支援センターの認知が広がり相談件数が増えたのだと思いたい。

**岩手県立大学 看護学部 学部長 福島裕子氏**

**（「岩手におけるリプロダクティブ・ヘルス／ライツの支援～“これまで”と“これから”～」）**

助産師の視点から、触れること、反応があること、がコミュニケーションの始まり。コミュニケーションが大事。被害者を責めるその思考、風潮も変えていく必要がある

# 登壇内容

岩手県警察本部 警務部県民課 被害者支援室 課長補佐 佐藤義一氏  
（「警察における被害者支援」）＊データがないため内容を記載＊

犯罪被害者の権利、誹謗中傷などの二次的被害から守る必要  
犯罪件数は減ったが、種類がネットに変わった  
性犯罪については、過去5年横ばいだが、警察への届け出が出なければカウントされない  
被害者支援という言葉は10年ほど前に出来た

## ●警察の支援

- ・長期にわたりフォローが必要なため、24時間電話相談がある
- ・初診、診断書、性感染症検査、緊急避妊薬、緊急避妊手術、被害届届け出があれば支援する
- ・精神的なケアにカウンセリング3回の支援もある
- ・自宅に戻れない場合の一時保護施設

最近多いのが実父

事件発覚までは耐えていても発覚後は学校にも行かれなくなるなど保護をする

## ●警察には話しにくいことを医療者が連携して相談に乗ってもらえると有り難い

関わりたくないのはわかるが、犯人を捕まえることが大事、金銭的な支援を受けるためにも警察に来てほしい

# 挨拶

## **花巻市長 上田東一様**

女性が生きがいを感じて生きていることを尊重することが大事だと考える。健康については女性特有の課題があり、医療専門家が集まって活動していることは意義深い。まんまるママいわての佐藤美代子さんを花巻市は連携し支援している。今回が女性の健康を守る活動をする大きなきっかけとなってほしい。

## **岩手県 保健福祉部 子ども子育て支援室 特命参事兼次世代育成課 課長 佐々木 浩一 様**

福祉部長小原様から挨拶文代読：包括的な健康支援対策を進めることが重要で、本県でプラットフォーム設立は大変意義がある。本県では、第二次アクションプランの策定、女性の活躍や心身の健康支援に取り組む。本フォーラムを契機に県内の関係者が結束し女性支援の体制の充実が図られることを祈念する。

## **花巻市 地域振興部 部長 藤井 保宏 様**

地域づくり課は女性活躍・男女共同参画・女性団体の支援をしている。テーマにある「必要な情報が必要なタイミングで届く」地域住民の為にそのような仕組みを一緒に考えていきたい。

# 参加者からの発言

## まんまるママいわて代表 佐藤 美代子 様

花巻市から委託を受けて産後ケア事業をしている。コロナ禍で451組対応、精神疾患が増えた。夜間休日の相談は、赤ちゃんを殺してしまいたい、自分も死んでしまいたい。家庭でDVを受けてもコロナで逃げ場もない。警察もコロナで受け入れてくれず、結局自分で外出して救出に行った。問題は望まない妊娠からスタートしている。

## もりおか女性センター 高橋 和佳子 様

ジェンダー平等、性被害支援に取り組んでいる。玉木先生の意気込みに感動した。多職種連携を願う。

## 村井産婦人科小児歯科医院 産婦人科医 村井正俊 様

警察のお金の支援がある、ではなく個人的にはそうなる前に何とかできないか、小学校から性教育が必要と思っている。年を取れば妊娠しにくくなるという話ではなく、30歳なら何%、45歳なら何%、きちんと数字で表せば、ライフプランをもっと考えるようになる。性犯罪も、性犯罪の罰とは何か、具体的に示す必要がある。教師が子供に手を出す、教師になろうとしている大学生にどう説明すべきか、社会人になる前に、もう一度性教育が必要。岩手を安心な地域にしたい。女性が力強く生きていける街にしたい。

# まとめ

## 対馬 ルリ子 代表理事

女性財団は、皆様の話、この経験を全国に活かし伝えていかなければならない。

## 吉川 千明 理事

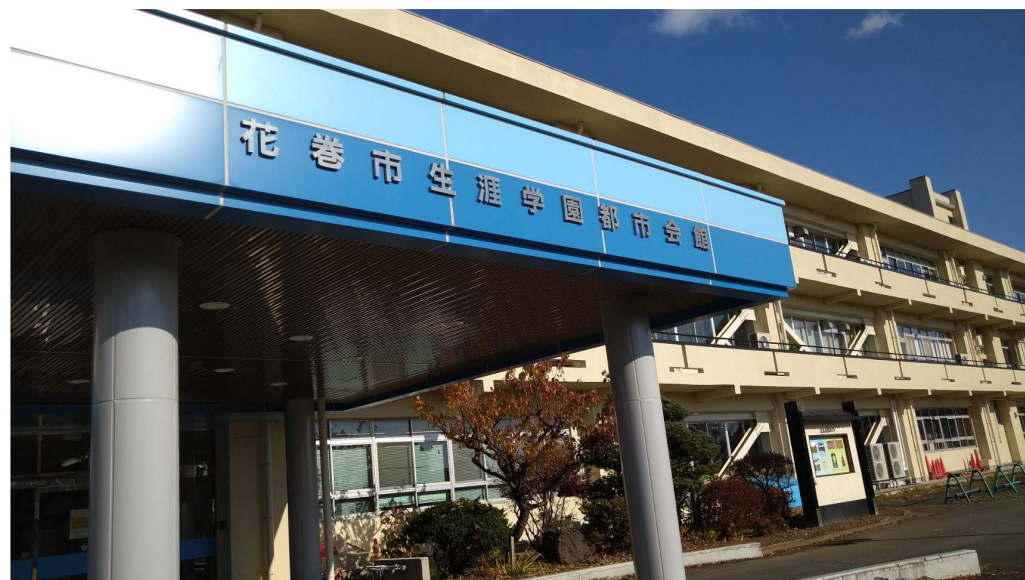
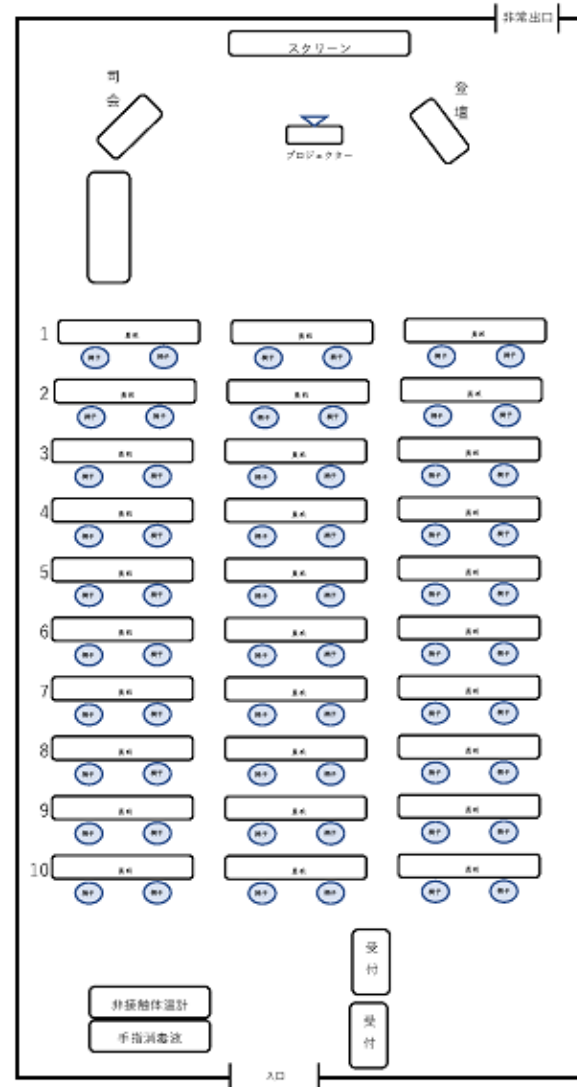
前例がないことをすると乗り越えなければならないことが起こるが、みんなで乗り越えましょう。



# 会場外観・レイアウト



岩手リアルプラットフォーム会 開設記念フォーラム 会場レイアウト



# チラシ・式次第・名簿



**岩手リアルプラットフォーム連絡会  
開設記念フォーラム参加申込書**

11月14日(月)までに下記QRコードからアクセスしていただきリンク先の  
※QRコードでの申込みができません(方はお電話にてご記入の上、下記FAX  
 FAX:0198-856114(もしじりや眼科内)  
 ※事務局です。定員となり次第締め切らせていただきますので、お早



左記のQRコードからブ  
リンク先のお申込フォ

■団体名	
■ご担当者名	
■住所	
■お電話番号	■FAX番号
■メールアドレス	
■事業内容(簡単に)	
■参加者	
番号	参加者氏名(ふりがな)
1	
2	
3	
4	
5	

フォーラム当日はご出席予定のみなさまを招待いたします。電話、主な事業内容を記載した資料の  
配布資料への記載を許可する許可しないの告知をお願いします。  
**記載を許可する・記載を許可しない** (必ずお選びください)  
の個人情報取り扱いについて、ご記入された個人情報は「個人情報保護に関する法律」に基づき  
 料金を保護いたします。また、頂いた個人情報は本フォームのみに使用することはありません。

お問い合わせ先 一般財団法人 日本女性財団 TEL:03-0004-8888 FAX:03-0041-3996

岩手リアルプラットフォーム連絡会開設記念フォーラム

## 女性たちに必要な情報が 必要なタイミングで繋がる地域を目指す

地域の女性の健康を支える医療職種 (Femship Doctors) が中心となり、地域の健康課題を解決  
するために多職種間連携協力連絡体制を確立するためのリアルプラットフォーム連絡会を開設。





一般財団法人 日本女性財団  
代表理事 **対馬 ルリ子**  
医療法人社団 ウィメンズ・ウェルネス  
女性ライフワークの創始者 総合理事  
産婦人科医師、医学博士  
[専門/周産期学、ウイメンズヘルス]

**日時**

2022  
11/22(火)  
14時30分～16時30分

**会場**

生涯学園都市会館 まなび学園  
花巻市花城町1番47号 TEL.0198-23-4234

**テーマ**

～女性を応援する人たちが  
地域の未来を後押しする～

**対象者**

行政関係者、医療関係者、各種女性支援団体、  
若年層性教育に関わる方及び教育に関わる方、  
女性のWell-beingに関心のある女性及び男性

\*参加申し込み方法は裏面をご覧ください。

**プログラム**

司会進行/西松園内科医院 副院長 滝川 佐波子

14時25分: オリエンテーション  
[岩手リアルプラットフォーム連絡会立ち上げに至る想い]  
いしどりや眼科 院長 玉木 光子

14時30分: 開会  
[日本女性財団、私たちについて]  
一般財団法人 日本女性財団 代表理事 対馬 ルリ子

14時45分: 女性たちを救済する医師～Femship Doctors～  
[東北のフェムシブドクターとして]  
津軽保健生活協同組合 健康生病院 副院長 齋藤 美貴

15時00分: 講演 1部  
[岩手におけるリプロダクティブ・ヘルス/ライツの支援～“これまで”と“これから”～]  
講師/岩手県立保健大学 看護学部学部長 福島 裕子

15時30分: 講演 2部  
[警察における被害者支援]  
講師/岩手県警察本部 警務部 県民課 被害者支援室 課長補佐 佐藤 義一

15時50分: フロアからの支援者発言


16時30分: 閉会

**東北エリア Femship Doctors**

青森県弘前市: 津軽保健生活協同組合 健康生病院 副院長 齋藤 美貴  
 岩手県盛岡市: 西松園内科医院 副院長 滝川 佐波子  
 岩手県花巻市: いしどりや眼科 院長 玉木 光子

岩手リアルプラットフォーム連絡会開設記念フォーラム 式次第			
一般財団法人 日本女性財団			
【日程】	2022年11月22日(水)	14:30	～ 16:30
【進行】	14:20	司会進行 開始アナウンス 西松園内科医院 副院長 滝川佐波子	
	14:25～14:30	「岩手リアルプラットフォーム連絡会立ち上げに至る想い」 いしどりや眼科 院長 玉木 光子	
	14:30～14:45	主催者挨拶 「日本女性財団、私たちについて」 一般財団法人 日本女性財団 代表理事 対馬ルリ子	
	14:45～15:00	女性たちを救済する医師～Femship Doctors～ 「東北のフェムシブドクターとして」 津軽保健生活協同組合健康生病院 副院長 齋藤美貴	
	15:05～15:10	花巻市長 上田 東一様 ご挨拶	
	15:10～15:40	講演 1部「岩手におけるリプロダクティブ・ヘルス/ライツの支援 ～“これまで”と“これから”～」 講師/岩手県立大学看護学部 学部長 福島裕子	
	15:40～16:00	講演 2部「警察における被害者支援」 講師/岩手県警察本部警務部 県民課被害者支援室 課長補佐 佐藤義一	
	16:00～16:05	岩手県保健福祉部子ども子育て支援室 特命参事兼次世代育成課長 佐々木 浩一様 ご挨拶	
	16:05～16:10	花巻市地域振興部 部長 藤井 保宏様 ご挨拶	
	16:10～16:25	進行 一般財団法人 日本女性財団 代表理事 対馬ルリ子	
	16:25～16:30	閉会 一般財団法人 日本女性財団 理事 吉川千明	

女性たちに、生き抜く力も。



一般財団法人 日本女性財団 主催  
「第1回 岩手リアルプラットフォーム会」

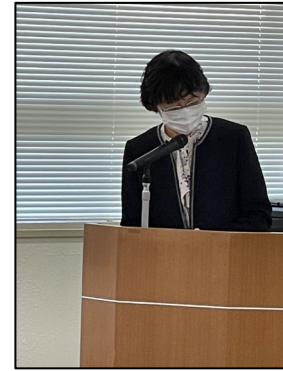
【 岩手リアルプラットフォーム連絡会 開設記念フォーラム 】

## 出席者名簿

開催日時	2022年11月22日(火) 14時30分～16時30分
会場	生涯学園都市会館 まなび学園 (岩手県花巻市花城町1-47)
テーマ	～女性を応援する人たちが地域の未来を後押しする～
内容	司会: 西松園内科医院 副院長 滝川佐波子 「岩手リアルプラットフォーム連絡会立ち上げに至る想い」 いしどりや眼科 院長 玉木光子 「日本女性財団、私たちについて」 一般財団法人 日本女性財団 代表理事 対馬ルリ子 「東北のフェムシブドクターとして」 津軽保健生活協同組合 健康生病院 副院長 齋藤美貴 「岩手におけるリプロダクティブ・ヘルス/ライツの支援～“これまで”と“これから”～」 講師/岩手県立大学 看護学部 学部長 福島裕子 「警察における被害者支援」 講師/岩手県警察本部 警務部 県民課 被害者支援室 課長補佐 佐藤義一氏

令和4年度 独立行政法人福祉医療機構 社会福祉振興助成事業

# 当日の様子



# 女性支援へ一致団結

一般財団法人日本女性財団（東京、対馬ルリ子代表理事）は22日、県内で女性支援に取り組む団体で構成する「岩手リアルプラットフォームフォーラム連絡会」（玉木光子会長）を設立した。ドメスティックバイオレンス（DV）や性被害、貧困など女性を取り巻く社会問題の解決を図る。花巻市で記念フォーラムを開き、同財団では全国初となる県組織の門出を飾った。

フォーラムは同市花城町のまなび学園で開き、医療関係者やボランティア団体、自治体職員ら約50人が出席。対馬代表理事は「全ての女性が健康で生きやすくなる社会を目指す」と考えたいと呼びかけた。医療や犯罪被害者支援を行う専門家が現状を報告し、課題を共有した。同連絡会は県内の産後ケア支援組織や女性センターなど約30団体で設立し、参加団体を募る。今後は▽

## 県内30団体の連絡会発足

### DVや性被害解決に力



岩手リアルプラットフォーム連絡会の設立に賛同した参加者

若年女性の心身の健康教育や相談▽女性支援、活躍を促す施策提言のためのデータ分析▽女性起業家や経営者の人材育成▽各種検定試験の運営などを展開する。同財団は2020年創設。対馬代表理事の理念に賛同した玉木会長を中心に設立準備が進んだ。県組織は財団支部の役割を果たす。

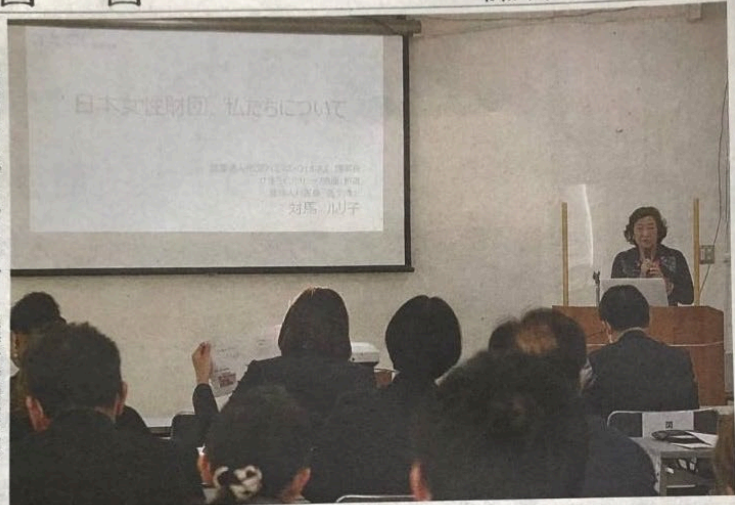
し、各地に設置を進める。玉木会長は「皆がそろえば大きな力になる。素晴らしい未来に向けた活動を開始したい」と意気込む。同連絡会員が主催する市民公開講座「女性の健康を考える会」は、23日午前10時から花巻市大通りのなほんプラザで開き、対馬代表理事らが講演する。参加無料。

メディア掲載  
2022.11.23  
岩手日報



# メディア掲載 2022.11.24 岩手日日新聞

岩手リアルプラットフォーム連絡会開設記念フォーラムであいさつする対馬代表理事



令和4年(2022)11月24日(木曜日)

# 困窮女性支援へ連携

## 日本女性財団 岩手連絡会発足

【花巻】

日本女性財団(対馬ルリ子代表理事)は、岩手の女性支援の活動をつなげる連携組織「岩手リアルプラットフォーム連絡会」を立ち上げた。女性の健康を支える医療職種「フェムシップ・ドクターズ」が中心となり、地域の健康課題を解決するため、多職種間の協力連絡体制の確立を目指す。同財団は岩手をモデルに連絡会開設を全国に広めていく。

同財団は、社会問題としても取り上げられるDV(配偶者、恋人などからの暴力)、性被害をはじめ、困窮する女性を救うために設立された組織。フェムシップ・ドクターズを立ち上げ、専門的な技術と経験を元に困窮する女性を支援している。

県内ではいしどりや眼科(花巻市)の玉木光子院長、西松園内科医院(盛岡市)の滝川佐波子副院長がフェムシップ・ドクターとして活動。連絡会では行政や医

療関係者、各種女性団体など多職種の人が連携して、▽女性の生涯健康を支える医療事業の運営・管理▽DVや性被害を受けた女性・外国人女性労働者の支援・福祉▽若年層女性のための心身の健康に関する教育・相談▽女性の健康や活躍に必要な支援や施策提言のためのデータ分析などに取り組む。

同連絡会開設のキックオフイベントとして22日、花

巻市花巻町のまなび学園で関係者約40人が出席して記念フォーラムが開かれた。財団やフェムシップ・ドクターの活動に理解を深めたほか、リプロダクティブ・ヘルス/ライツ(性と生殖に関する健康と権利)、県警の被害者支援に関する講演があった。

連絡会立ち上げに至った思いを語った玉木院長は、2021年6月に県内で起きた新生児の死体遺棄事件に触れ「困ったことが起きたら相談でき適切な処置ができていれば悲しい事件が起きなかつた」とし、女性たちに必要な情報が必要なタイミングでつながる体制の構築を訴えた。

対馬理事長は予期せぬ妊娠をした女性の背景や抱える課題は貧困や差別、中絶暴力など多種多様だとし「全部つながってどうケアし、救済するのかを皆の問題として考えていきたい。岩手から始める、日本中に広めていく第一歩。これからの地域の健康と幸せのために協力してほしい」と活動への参画を呼び掛け

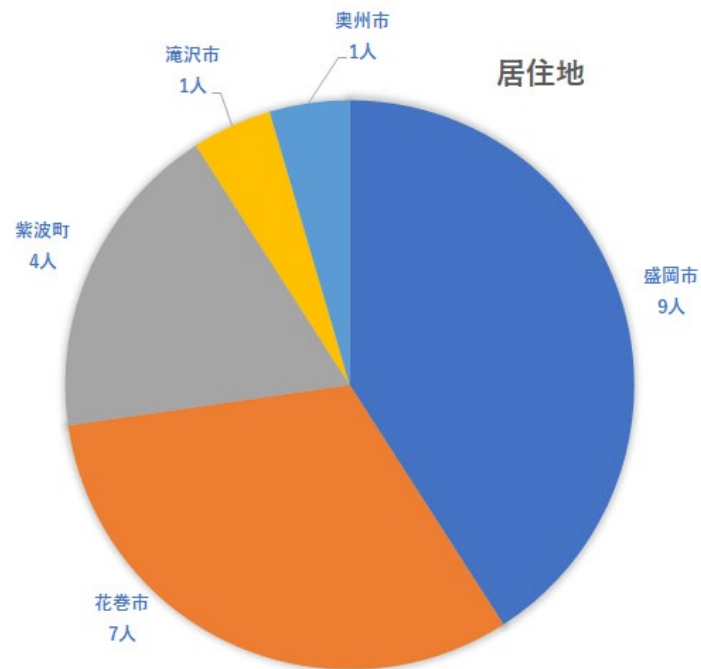
# ● 閉会後にアンケートを取りました ●

来場者49名の内、メディア、ボランティア、財団、計17名を除き32名中 **回答者22名**

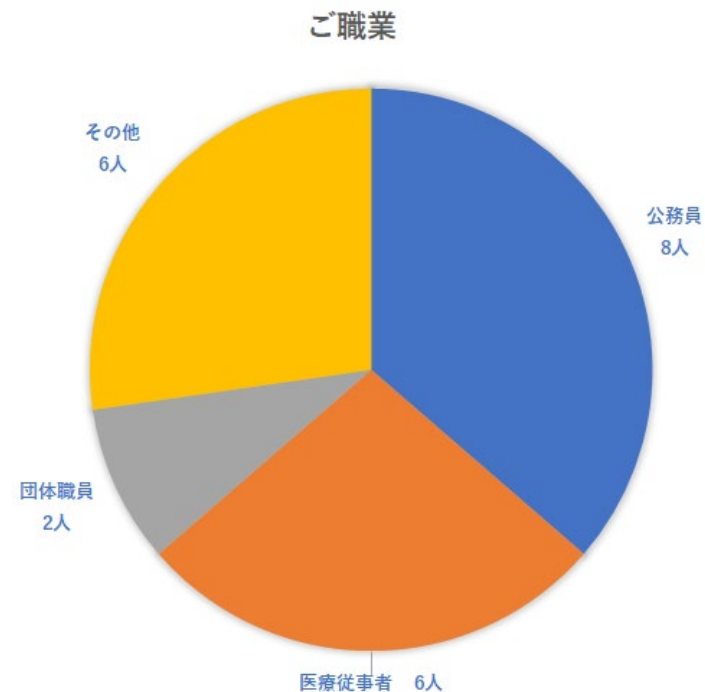
- ①居住地
- ②ご職業
- ③本フォーラムに期待したことを教えてください(複数回答可)
- ④本フォーラムは期待した内容だったか教えてください
- ⑤本フォーラムの内容はご自身の今後に変化を与えるきっかけとなるような内容だったか教えてください
- ⑥良かった点や今後を活かしたいと感じたこと、又はよくわからなかったことを教えてください
- ⑦これからの「岩手リアルプラットフォーム会(または日本女性財団)」の活動に期待することをお聞かせください
- ⑧これからの「岩手リアルプラットフォーム会(または日本女性財団)」の活動にこんなことで協力できる、ということがありましたらお聞かせください

# アンケート 結果

## ①居住地



## ②ご職業

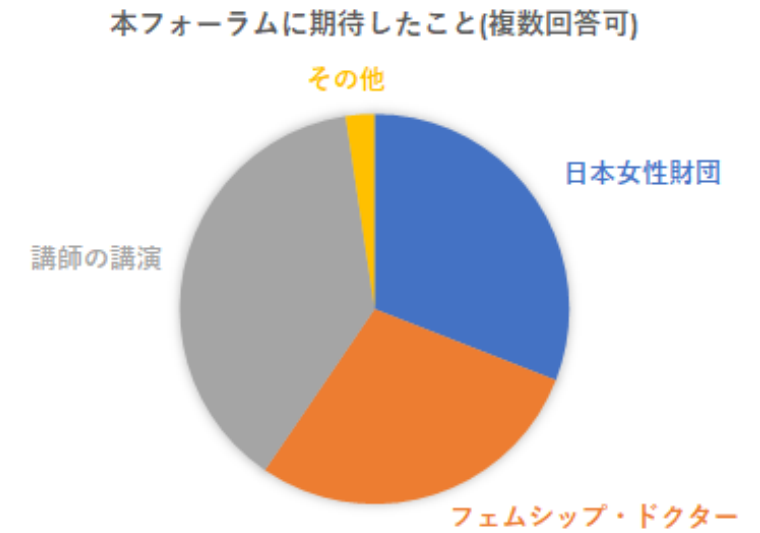


# アンケート 結果

## ③本フォーラムに期待したことを教えてください(複数回答可)

日本女性財団とは何か知りたかった (活動に興味があった)	13件
フェムシップ・ドクターとは何か知りたかった(活動に興味があった)	12件
講師の講演に興味があった	16件
その他	1件

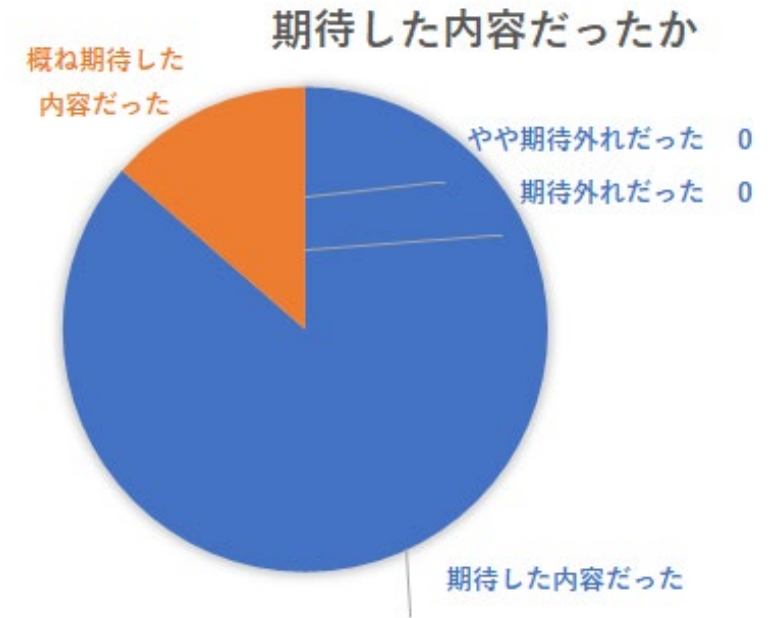
その他は 男女共同参画の捉え方 でした



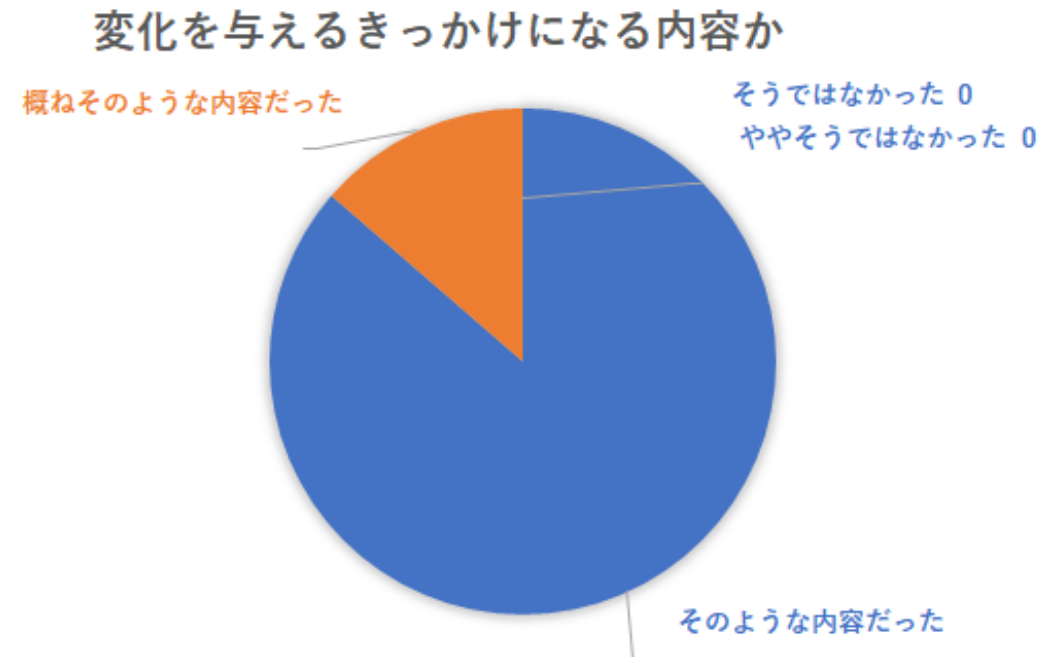


# アンケート 結果

④ 本フォーラムは期待した内容だったか教えてください



⑤ 本フォーラムの内容はご自身の今後に変化を与えるきっかけとなるような内容だったか教えてください



# アンケート 結果

⑥良かった点や今後に活かしたいと感じたこと、又はよくわからなかったことを教えてください

医療従事者	産業という現場から出来ることをしていきたいと思います。
公務員	青森県の事例は大変参考になった。(産婦人科医校医配置、特定妊婦の把握等)
医療従事者	様々な視点からの学びを得た
公務員	女性が置かれている現状、課題
その他	多方面からのお話や知識を得ることが出来ました。もっと知って聞いてほしいと思い、シェアしていきたいと思います。
医療従事者	岩手での性犯罪・性暴力の現状から目をそむけずに、女性・男性それぞれが、全ての人が幸せに生きていけるように支援していきたいです。これからの世代をつくっていく子供たちへ大切なことをもっと伝えていきます。弘前大学の冊子が非常に勉強になりました！ありがとうございます。
その他	熱いものが伝わってきました
その他	10代(高校生)の健康的な学校生活が送れるような支援体制を知ることが出来て良かったです。数年前には生徒が在学中に妊娠、退学するという事案もありました。生徒と保護者のみに出産育児までを任せるのではなく、もっと必要な支援を提供できたのだと省みています。同様の事案の際への対応を考えていく指針となりました。
公務員	男女共同参画、女性活躍の必要性が唱えられている一方で、女性特有の健康問題、性暴力やDV被害についての情報を得る機会があまりなかった。今回のフォーラムに参加し、多くの問題点を認識することが出来、大変勉強になった。
医療従事者	支援が必要とずっと思っていたが、それが形になりそうと感じました。
公務員	初めての参加でしたが勉強になった。
公務員	互いに異性を思いやる心が必要。出生率を高めるための教育をどう考えていくのか。女性も男性も若い人も老人も、温かい気持ちで暮らせる環境づくりはどんなことから始めればいいのか？
公務員	取り組みの想いが伝わった。

# アンケート 結果

⑦これからの「岩手リアルプラットフォーム会(または日本女性財団)」の活動に期待することをお聞かせください

公務員	女性の駆け込み寺的役割
その他	たくさんの人に見て聞いて知ってほしいです。
その他	行政への要望活動、ネットワーク化
その他	活動の主旨に感動しました。こうしてはられないと思い、自分のやれることを頑張ってやっていたと思いました。ジツとしてはられない。
公務員	困っている女性のみならず、多くの男性にも情報を伝えていって頂きたいです。
医療従事者	相談することを知られたくない人に、知られない安全な船になったらいいと思う。
公務員	期待してます。
公務員	全ての人の健やかな人生の為に頑張ってください。
公務員	女性目線、男性目線を共有する社会
公務員	当事者の気持ちに沿って長い目で守って頂きたい。

# アンケート 結果

⑧これからの「岩手リアルプラットフォーム会(または日本女性財団)」の活動にこんなことで協力できる、ということがありましたらお聞かせください

公務員	岩手県政へ声を届けていく。行政の仕組みづくり。
公務員	医療、教育部署との連携
その他	盛岡を中心に活動しています。様々なことがあり、何か手を差し出せばと思い行動しています。色々な人がかけこむ場所がたくさんあり、安心の場が増えることが出来ればと思っています。
その他	本日知り得たことをシェアしていきたいと思います。
その他	被害者のことでは、反対に協力をもらうことになるかもしれない。
その他	教育・教員は何かしらの協力出来るはずです。一緒に予防教育体制の構築を目指せたらと思います。また多職種の方々のお話しをお聞きし、生徒へ還元できるよう模索したいと思います。
公務員	私自身も勉強をし、情報を広めていきたいと感じました。
医療従事者	相談等話を聞くこと、活動のときの会場準備、調査の統計等
公務員	心身の健康について理解を拡げていく。